| 学校番号 | 306 |
|---|---|

# 令和８年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | (学)英語演習 A | 3 | 3 | Cutting Edge Blue（エミル出版）<br>The Levels 3（旺文社） |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多様なトピックの英文に触れ、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりする力を身につけましょう。
・様々なリーディングスキルを学び、英文の構造、パラグラフの構成を見抜く力を伸ばしましょう。
・自分の言葉でまとめる練習を通じて、さらに自分の意見や考えを述べることができるようになりましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと<br>（やりとり） | 話すこと<br>（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・日常社会、国際社会に関する様々な話題を聞き、要点をとらえ、話者のメッセージを的確に理解することができる。<br>・自然なスピードで話される様々な話題の英文を聞き、話し手の意図や内容の状況が理解できる。<br>・教室で話される英語は自然なスピードで話されてもすべて理解できる。 | ・日常社会、国際社会など様々な話題の英文を読み、概要や要点を的確に捉え、各パラグラフ同士の関係性、英文全体の論理構成を整理できる。<br>・筆者の意図や主張を正確に理解することができる。 | ・聞いたことや読んだことに関して議論ができる。<br>・様々な話題や相手の意見や考えに関して、その場で自分の考えや意見を即座に述べることができる。<br>・英語の音声的特徴、声の大きさやジェスチャーなどの伝え方に注意して話すことができる。 | ・聞いたり読んだり、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えをまとめ、発表することができる。 | ・聞いたことや読んだことに関して論理構成やパラグラフの関係に注意しながら書くことができる。<br>・様々な話題に関して自分の意見や考えを、根拠や具体例とともに書くことができる。<br>・相手が書いた意見や考えに対して自分の意見や考えをその場で書くことができる。 |

3 評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・各トピックについて、内容を理解することができる。<br>・それぞれのページで学んだ文法や重要構文を理解している。<br>・学習した文法を理解し、知識として定着している。<br>・つなぎの言葉を理解している。<br>・文章の要点をつかむことができる。 | ・学んだ文法を使って、文章を書くことができる。<br>・与えられた課題について、自分の考えや経験を書くことができる。<br>・パラグラフの構成に基づいて文章を書くことができる。<br>・要約を書く手順を理解し、要約文を書くことができる。<br>・トピックを決め、紹介や発表ができる。 | ・モデル会話に関心を持ち、聞き、発話しようとする。<br>・間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。<br>・積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。<br>・設問に対する疑問点を積極的に見つけようとし、理解を深めようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 1学期 | Cutting Edge Blue<br>Chapter1:<br>教育と疾病<br><br>Chapter 2:<br>最後のメッセージ<br><br>Chapter3:<br>目の大きさと脳の関係<br><br>Chapter4:<br>液体燃料問題 | 聞くこと | a: 教育や脳科学、エネルギー問題に関する説明・論説の英語音声を、キーワードやつなぎ表現（追加・列挙、時を表す副詞）に留意して聴き、要点を抽出・整理できる。<br>b: 時系列の流れや段落間の関係をとらえ、聴取内容を要約し、論旨を明確に説明できる。<br>c: 聴き取った情報を基に、自身の体験と関連付けながら継続的にやりとりへ参加しようとする姿勢を示す。 | 定期考査<br>（リスニング）<br>ペアワーク |
| | | 読むこと | a: 教育、脳科学、エネルギー問題に関する説明文や論説文を読み、語句や文構造、つなぎ表現に注意しながら、概要や要点を的確に捉えることができる。<br>b: 各パラグラフの役割や相互の関係を整理し、英文全体の論理構成を踏まえて内容を要約することができる。<br>c: 内容理解を深めるために、自ら問いを立てながら積極的に英文を読もうとしている。 | 定期考査<br>（リーディング）<br>ペアワーク |
| | | 話すこと<br>（やりとり） | a: 読んだ内容について、基本的な語句や表現を用いて要点を伝えることができる。<br>b: 読んだ内容や自分の経験を関連付けながら、相手の意見を踏まえて考えを述べ合うことができる。<br>c: 間違いを恐れず、相手に伝えようとする姿勢でやりとりに参加している。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | | 書くこと | a: 学習した語彙や文法を用いて、内容に沿った英文を書くことができる。<br>b: 読んだ内容を基に、自分の考えや意見を理由や具体例とともに、段落構成を意識して書くことができる。<br>c: よりよい英文を書こうと、表現を工夫しながら粘り強く取り組んでいる。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | 中間考査 | | | |
| | Chapter5:<br>貴重な教訓<br><br>Chapter6:<br>コーク VS ペプシ<br><br>Chapter7:<br>動物の社会的距離 | 聞くこと | a: 人生の教訓や社会・科学トピック（飲料の比較や動物の社会的距離など）に関する英語音声を聴き、時系列や要点を整理して筆者（話者）の主張を把握できる。<br>b: 逆説・結果・例示・対比などの論理マーカーに注意して聴き取り、主張と根拠の関係を説明できる。<br>c: 聴取内容を基に、ペア／グループで意見交換を継続しようとする主体的な態度を示す。 | 定期考査<br>（リスニング）<br>ペアワーク |
| | | 読むこと | a: 人生の教訓や社会的テーマに関する英文を読み、事実と意見を区別しながら内容を理解することができる。<br>b: 筆者の主張とその根拠を整理し、論理展開を踏まえて内容を説明することができる。 | 定期考査<br>（リーディング）<br>ペアワーク |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | c: 英文の内容に関心をもち、理解を深めようと主体的に読解に取り組んでいる。 | |
| | | 話すこと<br>（やりとり） | a: 読んだ内容について、必要な情報を整理して伝えることができる。<br>b: テーマについて自分の意見を述べ、理由を示しながら意見交換を行うことができる。<br>c: 相手の発言を尊重し、対話を続けようとしている。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | | 書くこと | a: 内容理解に基づき、適切な語句や表現を用いて英文を書くことができる。<br>b: 主題を明確にし、論理的な構成で要約文や意見文を書くことができる。<br>c: 書いた英文を見直し、改善しようとする態度を身につけている。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | 期末考査 | | | |
| 2 学期 | Chapter8:<br>睡眠の役割<br><br>Chapter9:<br>口論と真実<br><br>Chapter 10<br>オーガニック | 聞くこと | a: 睡眠、真実、オーガニック農法に関する英語音声を聴き、主題と論理展開（原因・結果・対比など）を把握し、要点を取り出せる。<br>b: 聴取した情報を要約し、論点を整理したうえで相手に分かりやすく説明・確認できる。<br>c: 自分の実体験や関心と関連付けて発言し、対話を主体的に継続しようとする。 | 定期考査<br>（リスニング）<br>ペアワーク |
| | | 読むこと | a: 睡眠、真実、オーガニック農法に関する説明文・論説文を読み、論理展開を捉えることができる。<br>b: 主題と要点を整理し、内容を簡潔に要約することができる。<br>c: 内容を自分事として捉え、主体的に読み進めている。 | 定期考査<br>（リーディング）<br>ペアワーク |
| | | 話すこと<br>（やりとり） | a: 読んだ内容の要点を、適切な語句を用いて伝えることができる。<br>b: 課題について自分の考えをまとめ、相手と意見交換を行うことができる。<br>c: 積極的に発言し、コミュニケーションを図ろうとしている。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | | 書くこと | a: 学習した表現を用いて、課題に沿った英文を書くことができる。<br>b: 主題に対する自分の意見を、理由や具体例を挙げて論理的に書くことができる。<br>c: 課題に真摯に向き合い、最後まで書き上げようとしている。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | 中間考査 | | | |
| | Chapter 11<br>自動運転車<br><br>Chapter 12<br>AI と仕事<br><br>Chapter 13<br>行動の背景 | 聞くこと | a: 自動運転や AI、行動分析に関するやや専門的な英語音声を聴き、問題提起–展開–結論の枠組みや重要マーカーを手掛かりに概要と要点を把握できる。<br>b: 論点間の関係（因果・対立・具体例）を整理し、主張の筋道を要約にまとめて説明できる。<br>c: 聴取内容を自らの経験・関心と結び付け、質問や意見提示を通して学習を深めようとする。 | 定期考査<br>（リスニング）<br>ペアワーク |
| | | 読むこと | a: 自動運転や AI、行動分析に関する英文を読み、専門的内容の概要を把握することができる。<br>b: 問題提起と結論の関係を整理し、筆者の主張を的確に捉えることができる。<br>c: 社会的課題への関心をもち、主体的に読解に取り組んでいる。 | 定期考査<br>（リーディング）<br>ペアワーク |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 調べた内容を、基本的な構成に沿って英語で発表することができる。<br>b: 情報や自分の考えを整理し、聞き手を意識して分かりやすく発表することができる。<br>c: 発表活動に意欲的に取り組み、表現の工夫をしようとしている。 | スピーキングテスト、ペアワーク |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 書くこと | a: 内容に即した語彙・文法を用いて英文を書くことができる。<br>b: 読んだ内容を踏まえ、自分の意見を論理的に構成して書くことができる。<br>c: 自己の表現を振り返り、よりよい文章を目指そうとしている。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | 期末考査 | | | |
| 3学期 | The levels 3<br>Leeson1<br>家族・家庭<br><br>Lesson2<br>言語・コミュニケーション<br><br>Lesson3<br>職業・労働 | 聞くこと | a: 家族・言語・労働に関する英語音声を聴き、必要情報を抽出して論旨の展開を捉え、筆者（話者）の主張を理解できる。<br>b: 主題と要点を簡潔に要約し、自分の見解との共通点・相違点を整理して口頭で説明できる。<br>c: 進路や将来と関連付けて内容を捉え、学習成果を対話や発表に活かそうとする主体的な態度を示す。 | 定期考査<br>（リスニング）<br>ペアワーク |
| | | 読むこと | a: 家族、言語、労働に関する英文を読み、情報を整理しながら内容を理解することができる。<br>b: 主題を捉え、筆者の主張と自分の考えを比較しながら読むことができる。<br>c: 学習内容を進路や将来と結び付け、主体的に読もうとしている。 | 定期考査<br>（リーディング）<br>ペアワーク |
| | | 話すこと<br>（やりとり） | a: 読んだ内容について、要点を押さえて伝えることができる。<br>b: 自分の考えを相手に分かるように述べ、意見交換を行うことができる。<br>c: 相手の意見を尊重し、対話を深めようとしている。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | | 書くこと | a: 課題に沿った英文を、正確な語句や文法を用いて書くことができる。<br>b: 主題に対する自分の意見を、根拠を示しながらまとめることができる。<br>c: 学習の成果を振り返り、主体的に表現活動に取り組んでいる。 | スピーキングテスト、ペアワーク |
| | 学年末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度